

Title	彙報（1975年10月～1976年9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 38 p.261-p.268
Issue Date	1977-03-15
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/80621">https://hdl.handle.net/11094/80621</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 彙 報

(1975年10月～1976年9月の研究活動)

I 本期間中に学報のほかに、次の研究誌が発行された。

『The Reeds』 14

1. Oh Past, where is thy Present? ..... Austin Faricy
2. What is Character ..... D. C. Gupta
3. The Fruit of *Olympos* ..... 金 山 崇
4. Another Short Short Stories of Yasunari Kawabata ..... 好 田 実
5. Pearl Harbor and Its Problem ..... 松 田 武
6. The Restaurant that Asked so Many Favors ..... 森 塚 文 雄  
Daydreams of a Lakeside Exile
7. The Wind Rises ..... 竹 中 靖 治

『大阪外大 英米研究』 10 (英語学科研究室 1976年3月)

1. 帝国主義論と経営の秘密 ..... 二 宮 厚 美
2. 「鳩の翼」再考 ..... 舟 阪 洋 子
3. ブロンテ詩の形而下的世界 —— エミリ「最後の」詩をめぐる ..... 正 木 恒 夫
4. アメリカ演劇過去15年の軌跡 —— Kopit と Albee の歩んだ道 —— … 田 川 弘 雄
5. *St Mawr* の主題の曖昧さについての一考察 ..... 内 田 憲 男
6. 英語の副詞について ..... 舟 阪 晃
7. Word order and movement processes ..... Takashi Sugimoto

『SPRACHE UND KULTUR』 11 (ドイツ語科研究室 1976年9月28日)

特集 日独対照研究

1. 『ボーンネル先生を偲ぶ会』顛末記 ..... 赤 阪 力
2. ドイツ語における「わたり」の現象一言語の対照研究とその方法 ..... 野 村 泰 幸
3. 日独表現の対照 ..... 乙 政 潤
4. 記録演劇論 —— 今日の日本とドイツの —— ..... 八 木 浩
5. Einige Übersetzungsversuche ..... 布 施 俊 夫  
—— Verschiedene Seiten des gegenwärtigen Japans ——
6. プレヒトにおける Freundlichkeit の意味  
—— “An die Nachgeborenen” ..... 友 田 舜 三
7. アリストパネス劇改作をめぐる「古典主義作家」

ペーター・ハックスの理論と実際 ..... 丸 本 隆

8. ホーフマンスタールと「気むずかし屋」ハンス・カール ..... 森 島 吉 美
9. 財政危機と金融の専制 —— Th. ノイバウアーの理論 (翻訳と解説) … 芦 田 亘
10. ベルリーン・フンボルト大学日本学科とその学生たち ..... 村 田 武

『IDUN』 III (デンマーク語学科研究室 1976年 3月 日)

1. Idun III を出すにあたって……………
2. デンマーク語の長・短母音  
—— 母音音長は後続子音の数から予測できるか —— ……………間 瀬 英 夫
3. 「雪の女王」—— その中にみる男女の元型 —— ……………岡 田 令 子
4. スノッリの父ストゥルラ……………菅 原 邦 城

『ETUDES FRANÇAISES』 14 (フランス語学科研究室 1976年 3月 日)

1. 新イタリア劇団の喜劇に現われた女性像  
—— Marianne と Paméla の間 —— ……………赤 木 富美子
2. 1920年代後半フランスにおける工業化と輸出  
—— フラン問題への一視角 —— ……………和 多 則 明
3. ヴアレリイの《La Fileuse》について……………岩 間 正 邦
4. 過去の重み —— プルーストにおいて……………原 田 武

『ロシア・ソビエト研究』 11 (ロシア語学科研究室 1976年 3月 1日)

1. ロシアにおける三文体論の系譜……………石 田 修 一
2. マヤコーフスキイの詩「汽車で」(Еду)について考えたこと……………田 中 泰 子
3. トルストイを語る……………法 橋 和 彦

〔中国語学科〕

西村 成雄

- |                         |                         |         |
|-------------------------|-------------------------|---------|
| B 1 「満州経済」はどのようにして成立したか | 『海外交渉史の視点』第3巻<br>日本書籍KK | 1976. 1 |
| 2 辛亥革命前夜における東三省         | 「大阪外大学報」第37号            | 1976. 3 |
| 3 1975年歴史学界回顧と展望(中国現代)  | 「史学雑誌」第85編 第5号          | 1976. 5 |

〔モンゴル語学科〕

橋本 勝

- |  |   |              |
|--|---|--------------|
| B 1 現代モンゴル語の述語   | 「アジア・アフリカ文法研究」<br>4号・<br>東京外大A. A. 研                          | 1975. 12. 25 |
| 2 M. ガーダンバ:「モンゴル秘史」の一芸術的表現の意味(翻訳)  | 「大阪外大学報」第37号  | 1976. 3. 1   |
| C 1 On the Terminative Case in the Language of the "Secret History of the Mongols" | The Third International Congress of Mongolists,<br>Ulan-Bator | 1976. 9. 1   |

〔インド・パキスタン語学科〕

桑島 昭

B 1	インド近代史への視角(1) —ラーラー・ラージパット・ラーイの活 動に寄せて—	「大阪外大学報」第37号	1976. 3. 1
-----	---	--------------	------------

溝上 富夫

B 1	On Colloquial Styles of Hindi observed among Students of Delhi University	「大阪外大学報」第35号	1976. 3. 1
2	Some Remarks on the Language Problems in urban North India	「Japan Quarterly」Vol. II No. III	1976. 4

〔タイ語学科〕

吉川 利治

A 1	タイの昔話(共編訳)	三弥井書店	1976. 5. 10
2	タイ—経済と投資環境—(共著)	アジア経済研究所	1976. 3. 25
B 1	19世紀前半カンボジア支配をめぐる タイ・ベトナム関係	『アジア経済』第16巻第9号 アジア経済研究所	1975. 9
2	インドシナ半島のライバル —タイとベトナムの歴史的関係—	月刊『アジア』第10号第10号 アジア評論社	1975. 12
3	東北タイ古典文学保存センター	『東南アジア歴史と文化』 第5号 東南アジア史学会	1975. 12
4	東北タイ、ラオスの生活慣行 年中行事と通過儀礼	『朝日アジアレビュー』 第24号 朝日新聞社	1975. 12

〔ペルシア語学科〕

勝藤 猛

B 1	パシュトゥ短詩	三笠宮殿下還暦記念オリ エント学論集 日本オリエント学会	1975. 12. 2
2	ピアル・ヘル村の経済と文化	「大阪外大学報」第37号	1976. 3. 1
3	『統治の書』について	「東洋史研究」第34巻第4号 東洋史研究会	1976. 3. 31

岡崎 正孝

B 1	イランの農地改革	『中東総合研究』第3号	1976. 3. 1
2	イランの灌漑農業	福田仁志編『アジアの灌漑 農業—その歴史と論理』 アジア経済研究所	1976. 3. 31

〔英語学科〕

林 栄一

- |     |                                    |                                    |              |
|-----|------------------------------------|------------------------------------|--------------|
| A 1 | 表現のエチューモン                          | 「小松光教授退官記念エッセイ集」 松柏社               | 1976. 5. 20  |
| 2   | 言語学と生成文法                           | 「蛭沼教授還暦記念論文集」<br>大阪言語研究会・日本ケルト語研究会 | 1976. 7. 1   |
| B 1 | 大言語学者たち (9) — ルイス・イェルムスレウ<br>田川 弘雄 | 『言語』Vol.4, No. 12<br>大修館           | 1975. 12. 1  |
| B 1 | アメリカ文学(演劇)の未来を占う                   | 「日本アメリカ文学会会報」<br>XIV 日本アメリカ文学会     | 1976. 9. 15  |
| C 1 | 1960年以後のアメリカ演劇                     | 「日本アメリカ文学会全国大会」 鹿児島大学              | 1975. 10. 26 |

松田 武

- |       |   |   |            |
|-------|---|---|------------|
| B 1   | 両大戦間期に於けるアメリカ対日投資政策—ナショナル・シティ会社と東洋拓殖会社の外債交渉を中心として—            | 「大阪外大学報」第37号                                  | 1976. 3. 1 |
| 2     | Pearl Harbor and Its Problem —<br>A Historiographical Essay — | 「THE REEDS」vol. 14<br>大阪外国語大学英語学科             | 1976.      |
| 3     | アメリカの大学と学生生活—<br>日・米大学の違いについての考察                              | 「The Student Times」Vol.<br>26, No.21 ジャパン・タイム | 1976. 5. 7 |
| 竹中 靖治 |   |   |            |
| A 1   | The wind Rises  | 「THE REEDS」vol. 13<br>大阪外大英語科研究室              | 1976. 8    |
| B 1   | ‘Vision’ の内と外<br>—Wordsworth における「孤独」と「社会」—                   | 「大阪外大学報」第36号                                  | 1976. 3. 1 |

〔ドイツ語学科〕

八木 浩

- |     |                          |                   |             |
|-----|--------------------------|-------------------|-------------|
| A 1 | ブレヒト転機の書                 | 「世界文学全集」94<br>講談社 | 1976. 5. 20 |
| B 1 | ブレヒトの三つのヨハナ劇(二)          | 「大阪外大学報」第37号      | 1976. 3. 1  |
| 2   | 大学での外国語教育と研究の歴史と現状       | 「日本の科学者」第101号     | 1976. 6. 5  |
| 3   | 過去の克服と繁栄の批判<br>—西ドイツの小説— | 「民主文学」8月号         | 1976. 7. 1  |

4 東西の比喩・象徴の表現 —日本語と日本語教育— 乙政 潤	国立国語研究所	1976. 3. 25
C 1 Eine stilistische Untersuchung zu "Schlagwörtern" (ドイツ語)	'75 Linguisten-Seminar (大磯)	1975. 10. 8
2 LL教材のプログラミング (ディスカサ ントとして)	LL学会昭和51年度全国大 会ドイツ語部会	1976. 8. 3
〔デンマーク語学科〕		
菅原 邦城		
B 1 国鉄旅客列車名称の分析研究	「大阪外大学報」第35号	1975. 3. 1
2 オルコヴリの話	「大阪外大学報」第36号	1975. 3. 1
3 ベルゲン出土のルーン資料 (1)	「北欧」12号 北欧文化通信社	1975. 7. 1
〔イスパニア語学科〕		
山崎 俊夫		
A 1 国際構造比較の経営学 —訳稿資料補遺篇—	関学生協出版委員会	1975. 12. 25
B 1 現行コマンド遺制：イスパニア国海商法 (3) 一条文訳と若干の問題点—	「大阪外大学報」第37号	1976. 3. 1
三原 幸久		
A 1 スペインの昔話—レオン地方の昔話—	三弥井書店	1975. 11. 15
A 2 ブラジルの民話	新世界社	1976. 5. 1
B 1 対立の論理	「国文学解釈と鑑賞」11月号 「民話の世界」	1975. 11. 1
2 日本語に訳された外国昔話文献目録Ⅱ (ヨーロッパ編)	「口承文芸」6号	1975. 12. 15
3 スペインの昔話・三つの愛のオレンジ	「NHKテレビ・スペイン語 講座テキスト」4・5月号	1976. 4. 1
4 メキシコの昔話・乙女と野獣	「NHKテレビ・スペイン語 講座テキスト」6・7月号	1976. 6. 1
5 アルゼンチンの昔話・半分のヒヨコ	「NHKテレビ・スペイン語 講座テキスト」8・9月号	1976. 8. 1

出口 厚実

B 1	SEはどこからくるか ースペイン語再帰動詞構文についてー	「HISPANICA」19号	1975. 10. 10
2	スペイン語変形生成文法関係文献リスト	「大阪外大学報」第35号	1976. 3. 1
C 1	スペイン語の動詞形における強勢	関西スペイン語学談話会 第14回例会	1976. 4. 17

伊藤 大吾

B 1	ルーマニア語の起源について	「大阪外大学報」第35号	1976. 3. 1
2	ルーマニア語名詞の格融合と性転換につ いて	「ロマンス語研究」10号 日本ロマンス語学会	1976. 7
C 1	スペイン語不規則動詞の歴史的考察	関西スペイン語学談話会	1975. 11. 22
2	ローマニアにおけるルーマニア語の特異 性について——形態論的考察	関西スペイン語学談話会	1976. 6. 26

〔ロシア語学科〕

小野 堅

B 1	ネップにかんする若干の考察 ーレーニンの所説の検討からー	「大阪外大学報」第37号	1976. 3. 1
-----	---------------------------------	--------------	------------

石田 修一

B 1	ロシア語の語順規則成立におけるロマノ ーソフの役割について	「大阪外大学報」第35号	1976. 3. 1
-----	----------------------------------	--------------	------------

〔哲学〕

大峰 顕

A 1	フィヒテ研究	創文社	1976. 1. 25
B 1	生死の視覚ー現代における死の問題ー	「理想」No. 519 理想社	1976. 8. 1

〔言語学科〕

崎山 理

B 1	南島比較言語学入門	「日本古代文化入門」第4巻 読売新聞社	1975. 11
2	外来文化とインドネシア語	「民族文化」第11巻第3号 アジア民族協会	1975. 12
3	インドネシア語の述語 ーその若干の問題点ー	「アジア・アフリカ文法研究」 第4号 東京外大A・A研	1975. 12
4	Japanese Proverbs	「Pacific Friends」vol. 4 No.1~No.5 時事画報社	1976. 5~9

〔歴史学科〕

間野 潜龍

B 1	中国仏山の祖廟について	「橋本博士退官記念仏教研 究論集」 清文堂	1975. 12. 15
-----	-------------	--------------------------	--------------

〔法律学科〕

貝田 守

A 1	現代民法入門(共著)	法律文化社	1976. 9. 20
B 1	背信的悪意者からの転得者の地位	「法律時報」48巻6号	1976. 6. 1

〔留学生別科〕

吉田 弥寿夫

A 1	Japanese For Beginners (共著)	学研	1976. 3
B 1	日本の象徴詩	「日本語と日本語教育」国語シ リーズ別冊4 国語研究所	1976. 3
2	文化とことば(座談会)	「大阪文化への提言」	1976. 3
3	日本語教師以前	「日本語教育」日本語教育学 会	1976. 5
4	夕暮と漱石・草平	「詩歌」50周年臨時増刊号	1976. 6
5	田辺聖子「夕ごはん食べた」論	「国文学」 学燈社	1976. 7
6	名歌鑑賞	「大阪人」連載中	
7	短歌選評	「点字毎日」連載中	

丸本 隆

A 1	ブレヒト作業日誌 1 1938-1941(共訳)	河出書房新社	1976. 4
2	ブレヒト作業日誌 2 1941-1942(共訳)	河出書房新社	1976. 5
3	AN INTRODUCTION TO KANJI (英訳-共訳)	三友社	1975. 11
B 1	ブレヒト演劇における「肯定的ヒーロー」 の問題点 —— グルシェ像を中心に	「Sprache und Kultur」	1975. 9
2	アリストパネスと現代	「大阪労演」No.322	1976. 2

※著書・訳書(A) 雑誌掲載論文(B) 口頭研究発表(C)

前号の誤植などの訂正については、附属図書館管理係まで申し出下さい。



### ＜アジア研究談話会例会一覧＞

1974年5月23日に結成準備会をもち、アジア研究にたづさわる人々の自由な参加討論を中心とした研究会活動をおこなうこととした。その後の例会活動は下記のとおり。

■ 第1回談話会（1974年6月27日）

大野 徹「民政移管を中心としたビルマの現状」

■ 第2回談話会（1974年9月19日）

森村 蕃「インドネシアの現状——ジャカルタ暴動とその後——」

■ 第3回談話会（1974年12月19日）

桑島 昭「インド近代思想史の一側面——ラーフル・サンクリットヤーヤナをめぐる——」

■ 第4回談話会（1975年2月20日）

小貫雅男「研究と教育——モンゴル近代史の場合——」

■ 第5回談話会（1975年5月22日）

吉川利治「『基本構想とその後』を読んで——外大の展望——」

■ 第6回談話会（1975年10月23日）

吉川利治「19世紀前半タイベトナム関係について」

■ 第7回談話会（1975年12月4日）

西出郁代「現代ビルマの政治と経済」

■ 第8回談話会（1975年12月18日）

小野田求「米朝条約成立前における米国の朝鮮政策」

■ 第9回談話会（1976年2月12日）

桑島 昭「現代インドの政治情勢」

■ 第10回談話会（1976年4月8日）

浜口恒夫「外大ビジョンの検討」

■ 第11回談話会（1976年5月13日）

西村成雄「中国土地改革の歴史的 성격」

■ 第12回談話会（1976年6月17日）

浜口恒夫「インドパキスタンの土地問題」